

大飯原発の再稼働は許さない！

～再稼働許すな緊急集会 in 小浜に

大阪労連から 29 人が参加～

野田政権が強引にすすめる関西電力大飯原発（福井県おおい町）の再稼働を許さない緊急集会が4月22日（日）、大飯原発の建屋が対岸に見える小浜市泊で行われ、大阪労連から宮武事務局長、出向井副議長、嘉満幹事、パート非常勤部会のみなさんら29名が参加しました。

突風と雨交じりの中集会会場には全国から80団体、400人を超える人々が集まり大飯原発の再稼働を許すなどの声を上げました。集会であいさつにたった原発問題住民運動福井県連絡会の奥出代表委員は、「福島原発事故の原因は究明されていない。防潮堤も数年後につくる計画だ。原発事故がおきたときに避難の手がまったくうてない現状で再稼働などありえない」と訴えました。小浜



報告する中嶋住職

市で40年以上反原発運動を続けている中嶋哲演住職が情勢報告をし、「原子力村の人たちは、福井県とおおい町だけが地元と

いうが、小浜市や巨大なリスクがおよぶ関西も地元だ」と訴え、福井県も関西地域も連帯共同して再稼働を許さない行動を強めようと強調しました。



大阪では、4月28日（土）午前11時から大阪市役所横女神像前で緊急の集会・デモを「原発ゼロの会大阪」と大阪労連が共催（全労連近畿ブロックが協賛）して開催します。また、5月11日（金）午後1時30分からは同じ会場で全労連近畿ブロックが主催する「関電本社包囲行動」が相次いで開催されます。大飯原発再稼働許さない行動を強めて行きましょう。

希望ある大阪市へ

12春闘（市内版）ピラ配布行動 2日間で199名参加5万枚を一気に配布

大阪自治労連

貧困と格差を解消し、希望ある日本と大阪をつくる12春闘ピラの配布行動が21、22日の2日間にわたって、大正区、住之江区など5行政区で行われました。

この統一行動には、大阪市労組、府職労など自治労連傘下の組合をはじめ、大教組・大阪国公と大阪労連の民間労組、地域からの協力もあり、のべ199人が参加し、22日は雨も降りましたが元気よく一挙に5万枚のピラを配布しました。

このとりくみを含め17万枚のピラ配布を行いました。



住之江での行動前の意思統一

“府民共同で、雇用と仕事の確保、賃上げ、社会保障拡充で、内需中心の経済、震災復興を”

お願い！2012春闘での各組織のとりくみを大阪労連までお送り下さい。Eメール info@osaka-rouren.gr.jp